PICTURE COMMUNICATION SYSTEM; FACSIMILE EQUIPMENT AND COMPUTER SYSTEM USED FOR THIS

Publication number: JP10133967 Publication date: 1998-05-22 Inventor: HOSODA SATOSHI SANYO ELECTRIC CO

Applicant:

Classification: G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; - international:

H04M11/00: H04N1/32: G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32; (IPC1-7); G06F13/00; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58;

H04M1/274; H04M11/00; H04N1/32

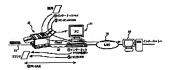
- European:

Application number: .IP19960286860 19961029 Priority number(s): .IP19960286860 19961029

Report a data error here

Abstract of JP10133967

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a picture communication system eliminating bad conditions being the increase of the size of the operation panel part of a facsimile equipment, the complication of operation or the increase of a memory capacity. SOLUTION: The facsimile equipment to be connected with a telephone line 31 and the computer system 34 to be connected with internet are connected through a communication line 35 and picture data read by the facsimile equipment 32 is given to the computer system 34 through the communication line 35 to convert the picture data to an electronic mail by the computer system 34 to transmit to an opposite party through the internet, in the picture communication system. The facsimile equipment 32, at the time of transmitting through the internet, transmits an abbreviated transmission address showing the internet address of the other side to the computer system 34, which reads the internet address from a storing means based on the abbreviated transmission address to set the internet address of the transmitting destination.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出職公開番号

特開平10-133967

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月22日

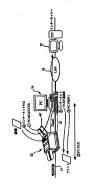
(51) Int.Cl.4		徽別記号		FΙ				
G06F	13/00	351		C 0 6 F	13/00		351B	
		353					3 ii 3 D	
H04L	12/54			H04M	1/274			
	12/58				11/00		303	
H 0 4 M	1/274			H04N	1/32		Z	
	-,		審查請求	未請求 請求	求項の数15	OL	(全 11 頁)	最終頁に続く
(22) 出版日		平成8年(1996)10月29日		三洋機構株式会社 大阪府守口市京阪本通2プ目5番5号 (72)発明者 瀬田 歌 大阪府守口市京阪本通2プ目5番5号 三 斉電機株式会社内				
				(74)代理	人 弁理士	瓜居	并	

(54) 【発明の名称】 画像通信システム並びにこれに用いられるファクシミリ装置及びコンピュータ装置

(57)【要約】

【課題】 ファクシミリ装置の操作パネル部の大型化や 操作の複雑化或いはメモリ容量の増大といった不具合を 解消できる画像通信システムを提供する。

【解決手段】電話回線31に接続されるファクシミリ 装置32とインターネットに接続されるファクシミリ 装置32とインターネットに接続されるファクシミリ 第34とが通信路35を介して接続されての、前記ファクシミリ装置30で読み取った画像データを前に通信 第35を介して前記コンピューク装置34に49よ、この コンピュータ装置34に可能画像データを電子メール に変換し、前記インターネット結由で相手先に送信する ようにした画像通信システムであって、前記ファイン リ装置32は、前記インターネットでよる送信を行うと きに相手振のインターネットアドレスを示う知識配信ア ドレスを前記コンピュータ装置34は送信、前記コン ピュータ装置34は、前記短縮送信アドレスに基づいて 記憶手段からインターネットアドレスを読み出し、送信 ※のインターネットアドレスを読み出し、送信



第2条であった。 は不成かで記載のファクシミリ楽器。 「指すがイングルファクシミリルではないでは、この付加特報が示す要似では、この付加特報がサイングルーツ楽器への巡信またはファクシミリ迷信を実行するようになっていることを特徴とす。 シミリ迷信を実行するようになっていることを特徴とす。

てーセント温紙多スイオで冒去雑誌店舗 【も取来館】 さよるも成わぶ号音IとTるわはコパにイロでのスーェ のこ取求龍至代2即求轄るやよ遊終さとこるパフでない

() 装置。 指来項4】 相手先への法信が実行できなかった旨の 情報をコンビューを装置から取った場合は、不遂通知を印字配く 加を印字部に作成するようになっていることを特徴と

を持成とするアッペンミリ発電、 (指本項3) 前記短額送信アドルスとともに自局ファ ペンミリ番号を前記コンヒエータ装置に送信するように なっていることを特徴とする請求項3に配載のファッシ

クフィンション 非難であって、 コンドエーク 整理を用いるが信を行うたるに相手先のインターネットアドレスを手続記 オーストレスを手が出版が信を行うためによって、 カーストルスを手続いた。

。 ムそス〜智楽編画るもっ ならい用いムモス〜引楽楽画の「更水精 【 2 距水精】

パブれら雑型や母素(ミシベケイの間 【11取次稿】 耐送額地へもブルカボら心面禁しにシベケ、合めいな 画業にこそのマ、 合めいないプト合う3取扱なスリア ーやベトバリ辺はコスリアにお送額地でもブルルがらか 他を見ず、ブな合めいないプルビが選びなフルナルが 中央イトが1のはファイル 第4の 1001 10

温度・エコベニを持つまる。 様ない位々なつが実が対象が表していることでは、 ないでなるでが実が対象がある。 ないていては、 ないでは、 ないでは

るいとこより美術であって、 イベシーネルトアドレスを入力するための入力手段と、 対応くセマ治地を記載を指すドレスを対しているい 対応させて記載する記載手段と、前記ファッシュ日義昭 直記録手段からくソターイトスを解説は出版と下れている事ので利 正記録手段からくソターネットアドレスを認定れた。 記述録手段からインターストレイルを踏み出し、送 記述録手段からインターストレイルを開発する手段とが備え

ならい用コムマスと計画衛通のIP決結 【9更次結】

り装置。 と請求項といる主流を明らのいずれかに記載のファクショ 信アドレスがインターネットアドレスの場合はこのコン ビュータ装置にて前記画像データを電子ルーに変換 し、前記インターネット経付で相手気に送信し、短縮送 信アドレスがファクシミリ番号の場合はファクシミリ装 置をモデムとしてファクシミリ送信するようにした画像 通常とステムであって、

前記ファクシミリ装置には、前記コンピュータ装置を用 いる送信を行うときに相手先のインターネットアドレス 又はファクシミリ番号を示す短縮送信アドレスを前記コ ンピュータ装置に送信する手段が備えられており、

前記コンピュータ装置には、前記インターネットアドレ スズはファクシミリ番号を入力するための入力手段と、 前記イクターネットアドレス又はファクシミリ番号を前 記知輸送信アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、 前記ファクシミリ装置がら送信されてきた前記略試信 アドレスに基づいて前記記憶を持めるイクターネットア ドレス又はファクシミリ番号を読み出し、送信先を設定 する手段とが備えられていることを特徴とする画象連信 システム、

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを 利用して原稿の送受信が行える画像通信システム並びに これに用いられるファクシミリ装置及びコンピュータ装 置に関する。

[0002]

【従来の技術】ファクシミリ装置は、電話回線等を用いて文庫保護を取的に速原地に伝達する手段であり、ボンタイ株を取りに、対して、大連作品をいる。 近年では、パーソナルコンビュータやワードブロセッサ等のコンビュータをではした文書情ではした文書情ではした文書情ではした文書情ではした文書情では、これらコンビュータ装置、ファクシミリボード等が開発され、これらコンビュータ装置、ファクシミリボード、及びァフクシミリ諸四部ペンターフェースに準化されてきている(EIA規格 СІass1、2 等)、それに伴って、これら標準インターフェースに準定した規制アークションソフトウェ

じた汎用ファクシミリ装置アプリケーションソフトウェ アが供給されるようになっている。 【0003】図4は、上述のようにファクシミリ装置1 00とコンピュータ装置101とを接続した状態を示す

00とコンピュータ装置101とを接続した状態を示す 説明図である。このようなシステムを構築することにより、例えば、以下のO-Oの機能を得ることが可能となった。

【0004】のスキャナ機能(PC-SCANNE

R): ファクシミリ装置100をコンピュータ装置1 01のスキャナとして利用する機能である。原稿をファ クシミリ装置100の原稿読取部にセットし、操作部の スキャナ入力キーを操作すると、ファクシミリ装置10 0は、原稿を読み取り、C1ass1のプロトコルに従 って、読み取った原稿をコンピュータ装置101へ送る。なお、このときのClass1プロトコルにおけるTSIには自局ファクシミリ番号が組み込まれる。

【0005】 プロンピュータファクシミリ機能(PC-FAX): ファクシミリ装置100をコンピュータ数 電101のモブトとして利用する機能である。 ※ 契回線 を介してファクシミリ装置100が受け放った原稿をコンピュータ装置101に取り込んだり、コンピュータ装置101で作成した原稿をファクシミリ装置にびもして※ 契回線により遠隔地の相手ファクシミリ装置に送ることができる。 ため、このとものClassiプレコルにおけるTS1には自局ファクシミリ装置の番号が組み込まれ、CS1には相手ファクシミリ装置の番号が組み込まれ、CS1には相手ファクシミリ装置の番号が組み込まれ、CS1には相手ファクシミリ装置の番号が組み込まれ。

[0006] ゆプリンタ機能(PC-PRINT): ファクシミリ装置100をコンピュータ装置101のフンリンタとして利用する機能である。コンピュータ装置101でがカフシミリ装置100の自局番号をゲイヤルする。ファクシミリ装置100の自局番号をゲイヤルする。ファクシミリ装置100は、コンピュータ装置101から送られた巻号が自局ファクシミリ巻号の場合には、前記原 辞令即等権に行います。

[0007]一方、近年においては、インターネットを利用した電子メールによる情報の伝達が活用されるようになってきている。インターネットを利用して電子メールを送信するには、パーソナルコンヒュータ上でデータ(通信文)を作成し、インターネットソフトウェア(インターネット経由でファイルを送受信するアプリケーションソフト)により送信を行い、また、電子メールを受信するときには、インターネットソフトが起動中であれば、サーバに対して例えば一定時間海にアクセンが行われてメールの有無がチェックされ、メールがおれば、読み出しソフトを起動させることにより、メールを読み込むことができるようになっている。

【0008】上記インターネットを利用する画像適信 は、特に海外等の週間地を相手先とする場合に、ファク ミリ通信に比べて低コストで行えることが知られてい る。その一方、既にプリントアウトされた低原稿を前記 パーソナルコンピュータに最予取らせてインターネット を用いて返信する場合には複雑な操作を行わなくてはな なないという欠点がある。

【0009】そこで、図ちに示すように、公衆回縁 10 3 に接続されたファクシミリ装置 100とLAN (ロールエリアネットワーク) 104及びサーバー105を 介してインターネットに接続されたコンピューク装置 101とを適信インタースース (RS232C上で機能するClass)など) 102により接続するととして、コンピューク装置 101にファクシミリ原稿データを電子メールに変換する機能を持たせることが考えられる。

。なかぶ高陸かした。(など) でなり、2013年の出来の記載の記載の記載の記載の記載の記載の記載の記載の記載の記載の記載の記述の記述の記述の記述をいました。 近れの記述のについている記述を記載しました。 2013年2月 2013年

。るでも利用きょ

(2100] るゆれ、みやなりむ、「間間るもとましば神神時の オマイッキーをくと、これによれ、近とでは、 ボストストスト、これによれ、 ボストストでは、 ボストストでがあった。 ボストストでがあった。 ボストストができます。 ボストストルストンでは、 ボストストができます。 ボストストが、 ボストストができます。 ボストストが、 ボストが、 ・

のような場合である。 というない 1888のような 1888 で 18

美名問払いミベクヤでおびま記込(の/重義を一よコくに プロボスを受す不効維育肌付のこ、J出跡を維育肌付か **パさ川計의号番リミジクヤてお又スマギマ副逝離歴、37** ま。るれ省位間手るを発開されにイロていた様、きづな 3つるで用おきベビイロでの存拠、おばまられた。(43) 3 アバフトないでよるやmからや部 I STるりはいんに イロでのスーェてーやくト計画多スイイで計断部膜、六 場合に、警告を発する警告手段を備えていてもよい。ま **されら間伴くるみ**ケど厳不なセーマきへも割払い置装を ーエコンに、3か合部いそ30よ業活気が水流流がかけなか 台を3を寄せらぐですて見目3スマイス高式解成、合総 いないるなる軽差な長者できぐりてく問目、なま、いま よブバブでないそれるで成計ブロ路室印多限衝撃不、コ 合能式で取り受み位置表や一よりくに多辨剤の言式で へなきつ計実体計断のへ決手群、介ま。いよよフィリファ なコミルるや自然は電影としている。 ペヤへ向目ごはるるスペイイで自然確認価値【VIOO】 。 るでと放料をくこる

 行するようになっていてもよい。また、予め登録されて いる複数の番号の各々について順次送信を行うように構 成されており、前記番号がファクシミリ番号であればフ ァクシミリ送信を実行し、前記番号が知顧送信アドレス であれば前記コンピューラ楽置を用いる送信を実行する ようになっていてもよい。

【0018】また、この発明のコンピュータ装置は、上述した画能通信システムに用いられるコンピュータ装置 であって、インターネットアドレスを入力するための入 カ手段と、前記コンターネットアドレスを前記短線送信 アドレスに対応させて記憶する記憶手段、前記コックシミ)装置から混合されてきた前記短線送信 ンミリ装置から混合されてきた前記短線送信アドレスに 基づいて前記記憶手段からインターネットアドレスを読 み出し、送信先のインターネットアドレスを設定する手 段とが慮よられていることを特徴とする。

【0019】相手先への送信が実行できなかった場合 に、その旨の情報をファクシミリ装置の自局ファクシミ リ番号とともにファクシミリ装置に送信するようになっ ていてもよい。自局ファクシミリ番号が登録されていな い場合、ファクシミリ装置から送られてきた短縮送信ア ドレスが規定に合っていない場合、ファクシミリ装置か ら送られてきた短縮送信アドレスに対応したインターネ ットアドレスが登録されていない場合など、不具合が生 じたと判断された場合に、警告を発する警告手段を備え ていてもよい。一つの短縮送信アドレスに対して複数の インターネットアドレスが登録できるようになっている とともに、前記複数のインターネットアドレスの相手先 に順次送信を実行するようになっていてもよい。短縮送 信アドレスを通信インターフェースのプロトコルにおけ るTSI信号にて受け取るようになっていてもよい。前 記短縮送信アドレスに付加された付加情報を検出し、こ の付加情報が示す要求に従って送信を実行するようにな っていてもよい。

【0020】また、この発明の画像通信システムは、回 線に接続されるファクシミリ装置とインターネットに接 **続されるコンピュータ装置とが通信インターフェースを** 備える通信路を介して接続されて成り、前記ファクシミ リ装置で読み取った画像データを前記通信路を介して前 記コンピュータ装置に与え、短縮送信アドレスがインタ ーネットアドレスの場合はこのコンピュータ装置にて前 記画像データを電子メールに変換し、前記インターネッ ト経由で相手先に送信し、短縮送信アドレスがファクシ ミリ番号の場合はファクシミリ装置をモデムとしてファ クシミリ送信するようにした画像通信システムであっ て、前記ファクシミリ装置には、前記コンピュータ装置 を用いる送信を行うときに相手先のインターネットアド レス又はファクシミリ番号を示す短縮送信アドレスを前 記コンピュータ装置に送信する手段が備えられており、 前記コンピュータ装置には、前記インターネットアドレ ス又はファクシミリ番号を入力するための入力手段と、

前記インターネットアドレス又はファクシミリ番号を前 記知館高店アドレスに対応させて記憶する記憶手段と、 前記ファクシミリ装置から送店されてきた前記短船近后 アドレスに基分いて前記記値手段からインターネットア ドレスはファクシミリ番号を読み出し、送信先を設定 する手段とが備よられていることを特徴とする。 【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図に 基づいて説明する。

【0022】図は、この発明の実施の形態における画 像通信システムを示した機能の構成図である。この画像 通信システムは、電話回線31に接続されるファクシミ リ装置32と、LAN36度だサーバー37を介して ソターネットは接続されるコンピュー学装置34とがR S232C(Class)による通信路35を介して 接続されて成るものである。

【0023】図2は、上配のファクシミリ装置32およびコンピュータ装置340具体的構成を示したプロック回である。ファクシミリ雑電32は、ファクシミリの基本的構成能分である原稿改取部1、読み取った原稿データを圧縮(MH、MR、MMR等の方式によるG3データを生成)するデータ圧縮部2、G3データをファイル化して蓄積するG3ファイル部3、G3データを印字るアリント部5、送受信データの変復順を行うFAXモデム6、公衆回線に接続されたNCU(制制等ユニット)フ、所述の内容を表示する表示部8、ユーザーにより操作される操作部9、相手先記憶部10、及び自局ファクシミリ番号記憶部11を備えている。

(10024) 前提の操作部のには、テンキーやワンタッ チキー等が配備され、また、前記の相手先記憶部10には、 成またシャー (知緒キー) やワンタッチキー等が 応して相手先ファクシミリ番号が記憶(登録)されるようになっているが、さらに、この発明にかかる機能として 大 類鑑法信子ドレス (インターネットアドレス 同級の はなく、それを示す数値、井や*などの記号、歌い社文 学からなる) の前記操作部のによる入り記をの和手先 記憶部10によるその登録が行えるようになっている。 ユーザーにて入力された情報が規縮ファクシミリ番号な のか、それとも短線送信アドレスのかれ、前記機作部 りに設けられている短線送信アドレス確定キーの。により指示できるようにしてある。詳細については接達する。

【0025】更に、この発明にかかる構成部分として、 ファクシミリ装置32には、アドレス合成部12、TS 「信号記憶部13、ファクシミリ番号/短縮送信アドレ ス判別部14、及びファクシミリ送信/インターネット 送信切地部15が備よられている。

【0026】前記のアドレス合成部12は、操作部9の キーにて入力された短縮送信アドレスに前記自局ファク

(9)

55前多スイイヤイャネーをマトカノ改校コスイイヤ計差 離默式で現り受るなる 6置装りミジヤヤて頭萌ひ及、2 7.規制理や止割理る台型もドベンスと関目の7.6 原発 リミングマス活而される代入プロ計製の0.2階計製製登

3.1 は続けられ、また、コンピュータ装置34には前記 エマイマン時間) 暗時師いなり示図のめれも行る略師 と行る時間断各るれは31割受送しこくやてての常能、お コスと置義じミベクャイの結構、アンチ【8600】 。るパブス勘含 8 2 名間成熟 スイイヤ計 **送離球を出れ続き心12路動場スソイヤイャネーやベト**

用きイーヤキーロでのを図、31個多家能光手貼るより代 人一キ鉄直、多計機略時の荷割送の合設立し用序をイッ ホーキベトるわさの路時間のされて、下以、るいフパル **付端込(てェウイてく時間) 路略師 v ふ J 示図(のかま) 引き軽値離各のアリ際の割割配のよるを置張りまぐやすべ**

昨多86一キ宝獅スイイヤ計送離欧、(2てゃそえ) J 代人多スイイで割透酵頭(よぶ)3なーキンその(略計製 、(1 てゃそれ) ノイャサを新東昌送341 常頭読辞期の てと国語リミベイイで、シーサーエ、ヤま「かそのの」 *9.4662211

3.43号部37路主発音ーそエいなJ示図>>>3サ6主 終る昔ーセエ 、コよろろろえそをヤー子文シーサットス へいる "いち干ブン経盤を豊番じミジカヤで局自" ブン 校318階示表、別れれないアパと動品が長春リミジやヤ て同目。(♪ヤペモス)るや剤呼ぎや否へるいフなき動 選びや者USVC4と同目のII 服制組を禁じさなやす て同自、お路崎時の2を運業リミぐやすて【2600】 * (ETVTX) \$

マーナット たいいろ "ヤツ と厳不な スマイス 割送離録" てしない8階示表、おないなで内以前02【8600】 。(2 T " F X) り番号のトータル桁数が20桁以下か否かを判断する ミンクマス局自+スイドで割逃離疎、別れるつのるパブ れる経査な是番いミベクャで副自、 たー 。 る気は遮氷ト ハンやス、コルサンヤキを単級のプまれき、プレチ、る

· (9444X) た残り、コンピュータ装置34へ送信原稿を送信する 図>ハるサミ主発を音ーそエゴよろろえもをセーギ文

トヤくとり) 研取引起みなどと直続しきぐりゃく 、料 混劇側の4を重雑を一下コイに、ブンチ【7500】 るで出去アJ 3容内のや計 I STSのよたし加合を3号 番いミベヤヤで局自ろスイギで割差離疎ぶぎろのこ、社 T. ZOWENMCSANG, CIRSSIONTHUS, T. 一、る気が膨胀 ババンやス ノノハサンサキを軽吸の方ま パラ、ブノラ。65年を号割53階生発音ーラエバなJ示

わぶい アパら割垢。(8てゃそえ)るで同時を依合なる いたなる製造な音楽しきぐんすく問目のとる影響に指す いミベイヤで高自却路時間の4を置装や一とゴイビ、コ 次。(「てペヤス) るや言受多号計 I STびよさ (小

> そりよう[Lasal Dart 、J動唱を音響しまぐんす て最目びよお尽くイイで計差離遅れれき気合プコン2 I 階気 合木 イド 不 5 1 本 3 は、 ない 5 1 本 3 は、 ない 5 1 本 3 は 5 1 本 3 は 5 1 と 7 【 7 2 0 0 】 1 信号記憶器13に送るようになっている。 STVX 、OI 電影場洗手掛の場面プリ流合を長帯Uミ

> ジャイト 日日 るい ア 水 き 動 活 フ オ I I 階 動 活 号 番 い ミ シ

*タロントなごくよるよ TSI信号の内容とすべく、前記G3ファイル部3に与

おプレスとよの下以は間間の写前, 3 5 4 4 3 t こして行行 **副数イベホーをベト/副数リミジクマで多維計機能の多** 、J、祖門をふのなたイイヤ言が翻訳されのな号番じょくり ヤマかを番びれる出れ続き440 I 密動場光手卧場前今長

4. 高さ4. "II" や香醂餅、知れはブぬ光がらよらいる るあプスイイで自然譲渡みのきるパブパを成付が長春い ミジベヤで最自のこ。るないとこるれを経費アしむ校の "II" 号番辯政のIC語動端光手財, ウエホホさ成付 ☆告番リミベクマでは目プロ2.1 電流合木イドでるで述 ※ 、よいい "○○○" 頭土、3や昨きs 9ーキ宝獅ス√7 て副数額政の場面プリ代人を"○○○" スイイで割数額 展37 " [I " 号番離欧知太例、知れむう合影るれき動揺 こり0 「格謝婦子手肝婦師 ア しふ(校立) 2 なや者離底をや者 じミンクヤマダスイギで計画部跡、対え内【6200】 *8824326

飲みや番いミシクオで社や番代人、ブ野を辞割引艇のあ 9一キ宝郵店前るかを踏引料、より41は下レイイで計 去部は人号番じミシクマで いよがれや計製き8 9ーキ ST部スイイで訂述解説の教代人のこ、おい合談るで代人 ーキンで発直を"〇〇〇" スソイヤ計巡離政、ごやは助 る等消费ーキキャペンマや消费離底、はな【0 € 0 0】 。るきづなくこるや無額 3.5.6.7.5.4.4.7.目光識脱水 "〇〇〇" 心頭前六九5出

の判断が含された場合には、前記のRS32Cによる よるなアスレイである確認し、J森敦コ b ムマチメ A 7 sil 前多と酷れたママモ ひょうかんはかんさん はっファイル部3を前 あつや番リミングマイプト 「路限呼の話前、より己 「路熱 砂割送イベネーをベト/割送いミぐをすて【I€00】 。るきがなるこるで制件を依たイギで冒蓋離

アサら加校コスマギで記述離壁の意泊含スマギアイッネ −をベトされる代人プラ計製の02階計製録室のこ、0 ストラ、例えばキーボード等などから成る登録操作部2 ーエムーをベトNAJ&で誘張を34と置業やーよ为く にろるそいAユ 、81ハトママハー×千部るや新落旦一 多√~×千事3時間受送、7 L 路齢ほ√トャてるを動場 多パトヤCパー×十部 、0 I 循頻深パトヤCるで焼速ご バー×子書をバトヤてその立っ類が受みなるも置続しる ぐんすて結構、対置薬を一エコンに、社一【2600】 運信器23個に接続するようになっている。

記憶しているインターネットアドレス記憶部21、両記

れば、表示部8に対して"自局ファクシミリ番号を登録 して下さい"といったメッセージ文アークを与えるとと してフラー音を発生させるべく団示しないエラー音を発きする。 をはほうを与える。そして、受信した送信原稿について は、これをファイル交換部16にて電子メールファイル に変換し、ファイル活物部17に記憶し(ステップ1 8)、スタンバイ影略に戻る。)、スタンバイ影像に戻る。

【0038】自局ファクシミリ番号が高機をれていれば、TSI信号の内容(短額送信アドレス十自局ファクシミリ番号)に前記目局ファクシミリ番号と一致する部分があるか否かを判断する(ステップウ)。一致している部分がかれば短額送信アドレスが規定に合っているか(例えば、規定では3分報であるような不いるのに名がであるような争響がある(ステップ)

0).
(0) 3] 規定に合っていない場合には、表示部Sに対して"送信知値"ドレスが不適当です"といったメッセージ次データを与えるとともにエラー音を発生させる、べく図示しないコーラー音発生能に信号を与える。トレス・ステップ10に進む、一方、規定に合っていれば、前記垣舗送信アドレスに対応するインターネットアドレスに記憶部21に記憶されているか否かを判断する「ステップ111)、記憶されているか否かを判断する「ステップ111)、記憶されているか否かを判断する「ステップ111)、記憶されているか否かを判断する「ステップ111」、記憶されているか否かを判断する「ステップ・リー」と記述されていません。と対して、当成問題がドレスが登録されていません。といたメッセージ文データを与えるとともにエラー音を発生させるべく図示しないエラー音楽を発生させるべく図示しないエラー音楽を発生させるべく図示しないエラー音楽を発生させるべく図示しないエラー音楽を発生させるべく図示しないエラー音楽を表しません。ステップ19に進む。

【0040】ステップ19では、受信した送信原稿のファーストページの上端部に"送信できませんでした"とという不選メッセージを付加し、自局ファクシミリ番号でダイヤルを行い、C1asslプロトコルに使いて、ファクシミリ表質 32に送信する。即ち、ファクシミリ素質 22にでき、ファクシミリ素質 22に、TS1信号の内容が信局ファクシミリ番号の名がにずリント部5にて印字を行い(ステップ20)、自局ファクシミリ番号でも 九ばプリント部5にて印字を行い(ステップ2)、同局ファクシミリ番号でおけば、その番号の相手先に送信する(ステップ2)、即ち、コンピュータファクシミリ機能(20円で-FAX)を採行する。

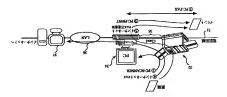
【0041】前記のステップ11でインターネットアドレスが登録されていると判断された場合には、ファイル変換部16にて変換された電子メールファイル18に蓄積し、前記インターネットアドレスの相手先に電子メールで送信する(ステップ)。

【0042】なお、前記ステップ18において記憶されたファイルは、例えば、ユーザーがコンピュータ装置34においてインターネットソフトを立ち上げ、このコンピュータ装置34上で相手先のインターネットアドレス

を入力し、送信原稿として前記の記憶されているファイルを指定することにより、当該ファイルを所望の荘下をに電子メールで送ることが可能である。また、ステップ 8とステップ9でNOとされた場合にも不透過知経信の かめの煙塩(ステップ19)を行うようにしてもよく、 また、ステップ10とステップ11でNOとされた場合 にも委信した画像のファイル記憶処理(ステップ18) を行うようにしてもよいものである。

【0043】以上説明したように、ファクシミリ装置 3 2 関でインターネットアドレス自体を入力したり、登録したりする必要はなく、インターネットアドレスを示す 短縮送信アドレスを入力したり、登録さればよいから、ファクシミリ装置 3 2 における接伸パネル部の小型化や 操作の機能化、気がメモり等したりの動作大しいったの単分大といったのと解消できる。なお、コンピュータ装置 3 4 側ではインターネットアドレスを入力したり或いはご録したりする必要があるが、コンピュータ装置 3 4 側ではインターネットアドレスを入力したり或いはご録したりする必要があるが、コンピュータ装置 3 4 では記録の機能・資源の活用にすぎないので特に問題はない。また、この実施の形態では、Classlプロトコルトとのとまりができ、新たにプロトコルをそのまま用いることができ、新たにプロトコルを作成するためのコストを削減することができる。

【0044】なお、上記のフローチャートでは、直接キ 一入力による相手先指定の例を示したが、先にも述べた ように、短縮番号やワンタッチキーや電話帳機能などに おいて前記短縮送信アドレス"〇〇〇"を登録してお き、これらの短縮番号等を用いて送信してもよいもので ある。また、一つの短縮番号等にファクシミリ番号と短 縮送信アドレスの両方を登録できるようにすることも可 能である。例えば、短縮番号"11"に対して二つの記 憶領域を設定しておき、短縮送信アドレス確定キー9 a が押された場合には短縮送信アドレスとして認識し、短 締送信アドレス確定キー9aが押されずに例えば通常の 確定キーが押された場合などにはファクシミリ番号とし て認識することができる。また、短縮送信アドレスをフ ァクシミリ番号と区別するために短縮送信アドレスに自 局ファクシミリ番号を付加するようにしたが、この自局 ファクシミリ番号に限らず、"#" "*" や特定の数字 或いは文字などを識別用に付加するようにしてもよい。 【0045】また、ファクシミリ通信機能として、同報 送信機能やプログラム送信機能が知られているが、これ らの機能における複数の相手先として、ファクシミリ通 信相手に限らず、インターネットによる相手先を登録で きるようにしてもよいものである。この場合、登録され ている相手に対して順次送信処理が実行されるが、ファ クシミリ通信相手であれば通常のファクシミリ通信処理 を実行し、インターネットによる相手先であればその都 度コンピュータ装置34と通信して上述したごとく、電 子メールによる送信を行うようにすればよい。更に、コ



[[]]

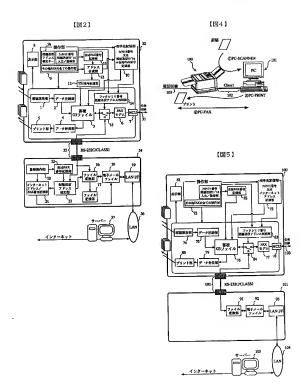
ネーセント、>なお要込るやCごし経登、Cごし代入を 本目スソイアイッホーをく下予閲置銭 U ミジヤヤマ 、割 れよい神経のこ、ことよれり神麗土以【果枝の神経】 [8400] いっし 送信するようにするようになっていてもよい。 クマCプノメルギチを置続し ミジクヤ C む合数の号番 U ミベヘヤベベス マイ 下割 数解成 、 し割 数 3 光手 肝 丁 由 経 イッキーやくト語前、J.触変コハー×千部さや一千船画 **活両プニル面球やーエコンにお合称のスイドでイルホーや** ベトルスイドで副芸舗課 、アンチ、>はアン計画アサさ a枚コスイドで副総離既は長番リミシクヤで 、ブルはコ 【2番割品スイドアイッネーサント、はな【7400】 tares. パソファないらよるや畝間を創送い代の4巻8、J 結雑 出断を(0を80) 辨析成付の結上、お路時間のかを置 蒸々ーとコンに、ブノチ、るさで販実ブムニるやく(0 480、幼太内、砕竹瓜付+白空+や杏じミぐんてく 品自+スイドで計試離既、多容内の長割IST、別X網 、お解析唯行のこ、る送る(ソンア)発情はもの付加情報は、 重義を一た3人になるを重義しまぐりすて、お司合都も 行うこともできる。例えばコンピュータ装置34個で行 ブ側を置義を一よ当くに、みるあず爺成むのな諸市社 **よこら計プ側面装∪ミベクマて多鎖糖のこ。&&で鎖**戸 よろこる专用鑑コムテスと言風激画の明発のこを追り降 育成れのこ、なるパブなる既め顕微解離成れならよの計 送宝器陵穂、おりつ置蒸じミジやヤで、六ま【もトロ0】 *24703111371116 よる专出赵次剛多ハート千事コスソドヤイッネーをント の機能活前、おいきろから送られる差かなとをには、前記機数の ペヤマなス√14 て計光識試のC──品前、考はブノコミよ るえ行が放棄室のスソドヤイッキーをくトの残壊プントない スペイス自然解説のでー、ブバはコルを置装を一となく

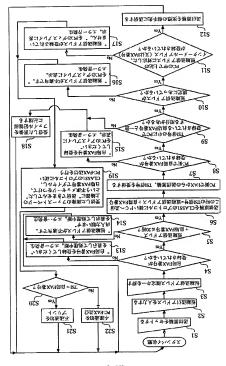
聖大の略小キハ引暴る付は31置葉リミンクセク、さかい

よび軽登、代人のスイギで割
が設定を示するイイヤイセ

路成婚たイイで副芸辭政 E2 路動品号番いミベイヤで副自 22 指動品 スイイ イャキー そくト 12 品計無機盤 0.2 メーエくーをベトNAJ 6 T **リトヤてハー×千部 81** 提製理化アイス VI 循規変パトヤワ 9 I 路熱印訂宏イッネーをマト、訂宏リミジクャで SI 稿別件スイイ不計紙離賦入号番リミジセヤビ I3 LSI倡音影像級 稲気合たイギて 1 2 遊劇部号番いミベイヤで副自 11 暗飘强光丰胜 0 τ 一キ京蘇スイドで司送離政 操作部 踏示表 娘リントくいぬ ε 【神経の号件】 * 24784 ペロてぶつ示る別解的本具の3直接を一よりくに3直接 リミングマてるわさコムマスン計画劇画の来跡【2図】 。るるプ図気前の御隣のムモスぐる漁る中 3個業ペーよ当べに3個業リミジペヤでの来跡【4個】 。るるアイーケキーロCカン示き野殿 ○・おおいます。
○ はいます。
○ はいまする。
○ はいまする *982X640 てぶつ示ぎ漁商内的科具の置譯や一よりくにひ及置談じき マクァてるわさコムテスと計画楽画の即発のこ【2図】 · 6 4 プ図週帯の溶膜のAぞえく計配剤画の押祭のご【Ⅰ図】 【明婚な単簡の面図】 。る专奏多果成され動、3なるきつ高稽を合具

不さべいる大節の量容リチとむい意 、小紫紫の計製や小





[€⊠]

FΙ

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6 識別記号

51) Int. CI.。 藏別記号 H 0 4 M 11/00 3 0 3

HO4L 11/20 101C HO4N 1/32